

お話遊びから見えるもの R5.1.18

大好きな「おおきなかぶ」の絵本から、お話遊びが始まりました。室内遊びの中で好きな役のお面をつけて
なりきり楽しむ子ども達。
遊びの様子を覗いてみると…

鍋に何人入れるか
みんな確認中。
「2人なら入れるよ！」

孫の次はぶたを
呼んでるよ！

かぶを抜いた後、鍋に入れてかぶスープを作る場面。
みんなで鍋に入ろうとすると…
「おなべが壊れちゃう！」

鍋に何人入れるかやってみました。
実際に経験して知ることがたくさん！友だちと一緒に
考える、やってみる、共有する…とても大事な場面
です。

友だちと一緒に遊ぶお話遊び。今はまだそれぞれの
イメージがあり、やりたいこと、やりとりで出てく
る言葉、なりきることで出てくる仕草など様々です。
子どもたちの発想や思いを受け止め、友だちにも伝
えていきながら楽しんでいます。
遊びから「こうしたい！」「これが足りないから作ろ
う！」などイメージも広がっているようです。

他の遊びをしながらもお話遊びの様子が気になる
子、近くでやりとりを見ている子もいますが、今は
それぞれの参加の仕方を見守りながら、お話遊びが
楽しいと思えるように誘いかけていきたいです。

かぶを抜くところでは、絵本を見て呼ぶ順番を確
認していました。視覚からイメージをもち遊びに取
り入れています。

